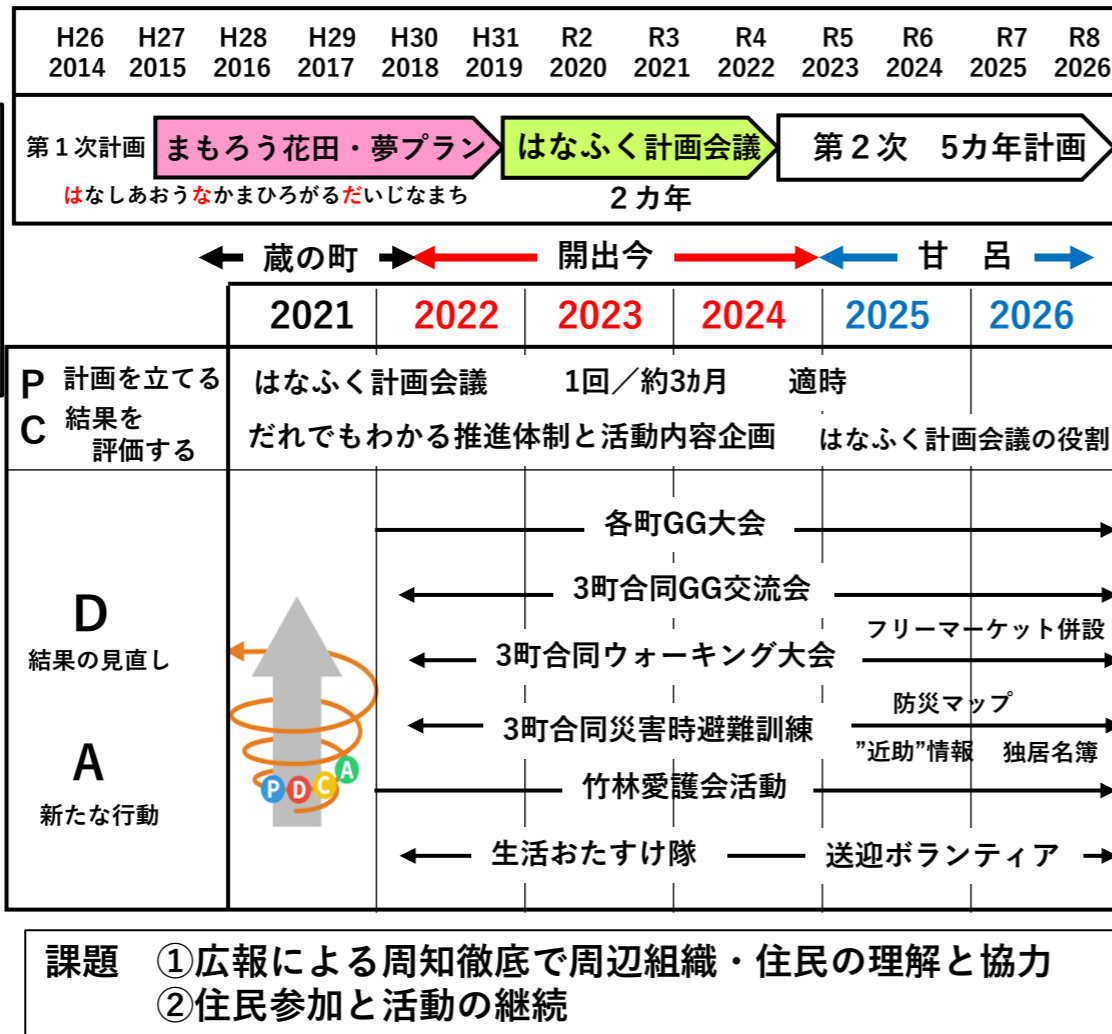


活動スケジュール

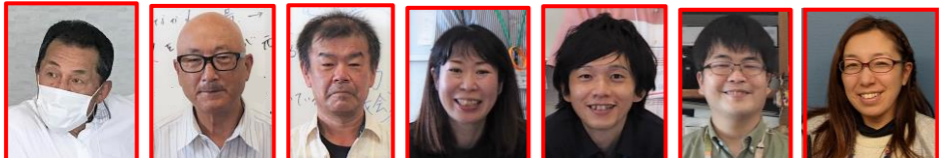


進行管理を実施し、定期的に把握・評価を行いながら
取組みの改善点を明らかにして、次の推進に努めます

キーワード
生活
居場所
安全・安心
人権
組織

課題 ①広報による周知徹底で周辺組織・住民の理解と協力
②住民参加と活動の継続

安心して暮らせる花田地区のまちづくりについて話し合い、教え合い、考えた「はなふく計画会議」のみなさんです。



策定：はなふく計画会議
編集・発行：花田地区社会福祉協議会
社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成してます。

2022年度>>>2026年度

花田地区 住民福祉 活動計画

『住民福祉活動計画』とは…
自分たちの住む町の生活・福祉課題に関心を持ち、町の特性を生かして福祉活動・まちづくりを進める住民みなさんの話し合いによる活動計画です。



この計画は『はなふく計画会議』で作成しました。
メンバーは花田地区(開出今、甘呂、蔵の町)自治会長、民生委員、住民有志、地域包括支援センター、市社協担当者など24名です。
5年後、10年後、20年後の花田地区の特性・住民生活を想像し住民の福祉向上のため9回の話し合いをかさねて作成しました。

計画の基本理念

見守りあい・支えあい・助け合いが
ふだんのくらしのしあわせ（福祉）をつくる

活動の目標
（ありたい姿）

ふだんのくらしのしあわせを感じるまち、住みたいまち、
住んで良かったまち、みんなで考え行動する町にしよう

活動の目標、実践的な取組みについて
話し合ったことを花のカタチにしました



福祉向上のキーワードは **生活, 居場所, 安全・安心, 人権, 組織** です

具体的活動案
キーワード

- 生活
- 居場所
- 安全・安心
- 人権
- 組織

ありたい姿

- 住民お互いを認め合い、気楽に声をかけるつながりがある
- “助けてと言える”関係がある
- いつでも、いつまでも支えあい、助け合うことができる
- 安心・安全に暮らし続けることができる

実践取組みの方向性

- ① 自分らしさの認め合い、一人ひとりの活躍
- ② 防災に強い地域づくり、防災力・対応力の向上
- ③ 相談しやすい地域、困りごとを放っておかない地域
- ④ 地域福祉の推進、利便性と安心の充実
例) ITの活用

福祉向上に必要な実践的取組みを具体的な活動案にしました

住民交流の場づくり
グラウンドゴルフ
各町GG大会
グラウンドゴルフ
3町GG交流会
3町合同ウォーキング大会
3町合同災害時避難訓練
独居名簿 “近助”情報
防災マップ

竹林愛護会活動
フリーマーケット併設

自助 互助 公助
生活おたすけ隊
送迎ボランティア

自治会活動
民生・児童委員
社会福祉協議会
地域包括支援センターきらら
はなふく計画会議

実践取組み活動をするためには **周辺組織・住民の理解と連携・協働** が大切です

住民を取り巻く現状から
将来予想される心配な状況について話し合いました

人口減少社会
超高齢化の進行
生産年齢人口の減少
少子化のさらなる拡大

こどもが少ない・いない
安全・安心の確保心配
空家増加
行政サービスの限界、転嫁
自治会役員、世話役の高齢化



こんなときこそ住民の**交流の場**が必要です⇒情報の**共有化**が大切になります